

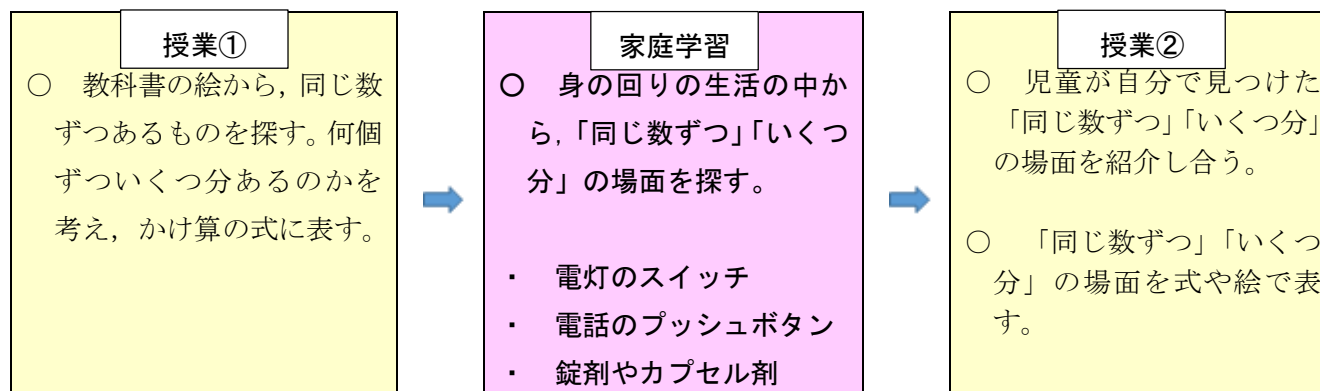
平成 30 年度「家庭学習質的改善」事例

【B】 深化・発展型 ①〔塚脇小学校〕

小学校 2 年 算数科「かけ算（1）」

○ ねらい

「〇こずつ、△こ分」から立式する学習の後、教室や学校、家庭など、子どもたちが毎日生活している身近なところから「同じ数ずつ」「いくつ分」の場面を探させ、乗法による総数の求め方のよさに気付かせる。



※ 乗法を適用できる場面を教室や家庭で探し出す活動により、実用的な乗法のイメージを児童に感じ取らせることができた。

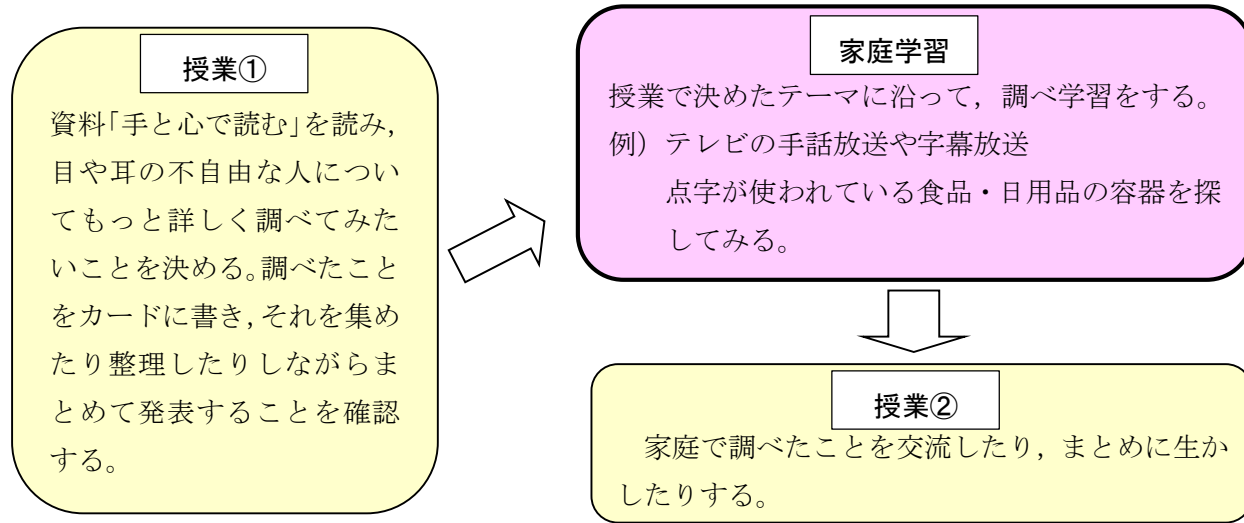
【B】 深化・発展型 ②〔万膳小学校〕

小学校 4 年 国語科「だれもが関わり合えるように」

○ ねらい

調べ学習に家庭学習でも取り組ませることで、意識を継続させながら、より幅広く学びを深めることをねらいとする。

○ 取組の実際



【B】 深化・発展型 ③〔国分南小学校〕

小学6年 社会科「近代国家にむけて」

近代国家にむけて産業や人々の暮らしが近代化してきたことを学習した後、事前に、「社会の様子の変化にともない、他に社会の様子で変化はなかったか。」について調べておく。そして、授業で発表し、交流し合う時間を家庭学習の活用により確保した取組

授業①

日清・日露戦争後に、産業や人々の暮らしが近代化した一方、公害問題なども出てきたことを学習した後、「暮らしや社会が近代化しただけでなく、他に社会の様子で変わったことはなかっただろうか。」という問題意識をもたせ、家庭学習に取り組みさせる。



家庭学習

資料集や教科書、インターネット（家庭にある児童）などで、社会の様子の変化を調べ、ノートにまとめる。

◎ 家庭学習で調べる時間を確保することで、授業時間の交流の時間を確保させる。また、自分で調べたことなどの資料を活用した表現の時間を充実させる。



授業②

- ① 教科書や資料集等で調べてきた他の社会の様子の変化を、グループで交流し合う。
- ② グループで交流し合ったことをもとに、それぞれのまとめを考え発表する。
- ③ 全体でまとめをする中で、個人で調べてきたことを活用し、用語の説明などを児童に補足させる。